

## 音 楽

## 言語活動を効果的に位置付けるための活用シート

	教科の目標	言語活動の指導のポイント
小学校	表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 合唱や合奏、グループによる音楽づくりの活動では、思いや意図を伝え合ったり、他者の考えに共感したりしながら、皆で一つの音楽をつくっていく学習活動を工夫する。</li> <li>◆ 歌唱表現では、歌詞の内容や言葉の特徴を生かして歌ったり、日本語のもつ美しさを味わったりするなど、言語と音楽との関係を大切にする学習活動を工夫する。</li> <li>◆ 鑑賞では、楽曲や演奏の楽しさに気付いたり、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いたり理解したりする能力を育成するために、感じ取ったことを言葉で表すなどの学習活動を工夫する。</li> </ul>
中学校	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 音楽に対するイメージ、思い、意図などを相互に伝え合う学習活動を工夫する。</li> <li>◇ 歌唱表現では、言葉と音楽との関係を重視する観点から、歌詞の内容や言葉の特徴を生かして歌ったり、日本語のもつ美しさを味わったりする学習活動を工夫する。</li> <li>◇ 鑑賞では、音楽的な特徴などを理由として挙げながら音楽のよさや美しさなどについて述べる学習活動を位置付け、主体的、創造的に味わって聴く学習活動を工夫する。</li> </ul>

## 言語活動としての要素

要素Ⅰ 自己の思考		
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感じ取ったことを基に表現・鑑賞への思いをもつ。</li> <li>○ 聴き取ったことを理由や根拠とともに言葉で書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の課題に対して自分の考えをもつ。</li> <li>○ 自分の考えをどのように表現するか考える。</li> </ul> <p>指導の工夫(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 歌唱表現では、楽曲の特徴を生かした表現を追及したり、共通点や相違点を整理したりして、感じ取ったことや表現したい思い、意図をワークシートに書かせる。</li> <li>◇ 鑑賞では、音楽を形づくっている要素や構造などを理由として挙げながら、音楽のよさや美しさを表現させる。</li> </ul>
要素Ⅱ 伝え合い		
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 思いや意図を生かした表現の仕方を話し合う。</li> <li>○ つくりあげた歌唱・器楽等を表現し合い、感じたことを伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他者との伝え合いを通して、多様なものの見方・考え方に触れる。</li> </ul> <p>指導の工夫(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 思いや意図を表現につなげるために表現の仕方や技能についてホワイトボードを活用して意見交換させる。その際には、学級全員がどの部分について話し合っているか分かるように、小節番号を用いるなど他者へ伝えることを意識させる。</li> <li>◇ 着目する[共通事項]等を確認して表現させ、気付いたことや感じ取ったことをワークシートに記入させる。</li> </ul>
要素Ⅲ 思考のまとめ		
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分と違った友達の視点を取り入れて再考する。</li> <li>○ 自分が気付いたことを生かしてもう一度表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他者との伝え合いを通して、再び自分の考えを深める。</li> <li>○ 自分の考えを自分の言葉で、他者によりよく表現する。</li> </ul> <p>指導の工夫(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などについて、伝え合いを通して気付いたことや感じたことをワークシートにまとめさせる。</li> <li>◇ 気付いたことを基に、表現に生かすための手だてを考えさせる。</li> </ul>

## 言語活動を支える基盤

基本的事項の理解	
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習内容の基本的事項を理解する。</li> <li>○ 各教科等に必要用語や記号及び表現を理解する。</li> </ul> <p>具体的な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 共通事項で示された用語や記号など、意味や表現について理解する。</li> <li>○ 発声や発音、楽器の奏法、音楽をつくる技能を理解する。</li> </ul>
学習情報の獲得	
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体験などを含めた広い意味での「教材」から情報を得る。</li> </ul> <p>具体的な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書、ノート、資料等から既習事項を確認する。</li> <li>○ 楽曲を聴くことで、音楽を形づくっている要素への意識付けをする。</li> <li>○ 音楽を形づくっている要素の働きの違いや段階的な変化を比較して聴き、違いやよさに気付く。</li> </ul>